

集落が孤立した時の避難方法を確保したい

No.22

徳島県

その他

支援の名称

孤立可能性集落における里道を使った避難訓練

制度の
趣旨・背景

徳島県西部圏域の集落孤立化対策を「にし阿波」の人と人との絆により、地域ぐるみで取り組むと共に、過疎・高齢化の進行する西部圏域の防災キーパーソンの発掘や圏域内小中高との積極的な連携により未来の防災リーダーの育成に努めます。さらに、「徳島県南海トラフ巨大地震等に係る震災に強い社会づくり条例」に明記されている中央構造線活断層帯直下型地震についての普及啓発を推進します。

制度の
内容

○取組概要
幹線道路が少ない山間部においては、地震や豪雪等の災害時に道路が不通となり、集落の孤立が懸念されます。そこで、地域に残る里道を利用した避難訓練を実施し、避難方法等を地元自主防災会や関係機関に広く啓発します。

○平時の里道活用
里道は隣近所や畑への往来に用いられ、草刈り等を行うなど集落で維持管理されています。

○周囲の声
里道の維持管理の必要性、里道を利用したお互いの救助について、参加者の意識が向上したものと考えています。

<H25 取組内容と進捗状況>

1. 西部圏域広域防災連絡会議（H23 5 回、H24 7 回、H25 9 回）
県と圏域 4 市町で構成し、南海地震などの大規模災害に備え、西部圏域内の相互連携による防災力の蓄積・強化及び東部・南部圏域への広域的な連携・支援体制の構築を図ることを目的に開催
2. 「にし阿波防災行動計画」の策定（H25 策定）
地震及び土砂災害に対する具体的な防災・減災対策として以下の内容を示した。
 - ①にし阿波圏域の行政機関等が行う防災・減災対策行動計画
 - ②市町・民間で実施している先進事例
 - ③にし阿波の広域的な防災の取組

<課題>

- ・住民の理解と積極的な参画により、行動計画を推進する必要がある。

対象と
なる方

山間部の住民

問い合わせ
先など

○所管
徳島県 西部総合県民局 企画振興部
TEL：0883-53-2390

○関連 URL
・～人と人・助け愛～にし阿波・地域ぐるみ防災推進事業
<http://www.pref.tokushima.jp/seisaku/shinki/result/9/sheet/1172/>